

関係各位

公益財団法人島根県建設技術センター理事長  
[公印省略]

令和6年度 第18回土木技術講習会の開催について

当センターの運営につきましては、平素から格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。  
さて、当センターでは、建設工事における技術水準の向上を図るため、建設技術に関する専門研修を行っていますが、このたび下記のとおり講習会を開催します。

つきましては、受講希望の方がありましたらとりまとめの上、当センターのホームページより申し込み  
ください。

記

- 日 時 令和6年10月28日(月) 9:20~16:20(受付9:00~)
- 場 所 東部会場:くにびきメッセ 多目的ホール(松江市学園南1丁目2-1)  
西部会場:浜田建設会館 3F 大会議室(浜田市原井町908番地28)  
隠岐会場:隠岐建設会館 会議室(隠岐郡隠岐の島町西町名田の四34-1)
- 主 催 公益財団法人島根県建設技術センター
- 後 援 島根県土木施工管理技士会
- 日程及び内容 『**新技術・新工法の取り組み**』  
詳細は別紙のとおり  
プログラムは予定です。講師・時間等が変更となる場合もあります。
- 受講対象者 県・市町村職員、建設業技術者・コンサルタント技術者・その他
- 申込期限 **令和6年10月15日(火)16:00**[Web申し込み]  
※申込は(公財)島根県建設技術センターホームページ(<http://www.sctc.or.jp/>)からできます。「受講申込方法(PDF)を確認ください。
- 受講定員 **東部会場:120名 西部会場:30名 隠岐会場:20名**  
尚、申込者多数の場合は、提出期限までに申し込みされた受講者の中から、申込書に記入されている各所属の優先順位を考慮して受講者を決定しますので、優先する順に受講者名を入力ください。
- 受講の可否 受講の可否については**10月16日(水)16時**にマイページにてお知らせします。  
申込み責任者がマイページを確認ください。

10. 受講の変更・取消 受講者の取消をされる場合は入金締め切り日まで、また、変更は受講日の  
受付開始前までに手続きしてください。
11. 受講料 無料
12. 携行品 受講通知書、本人確認ができるもの(顔写真付き)、筆記用具  
入金を確認後、受講通知書(QRコード)を10月23日(水)16時までに発行します。  
マイページからダウンロードして印刷するかスマートフォンに保存して当日お持ち  
ください。
13. 受講証明 この講習会は CPD および CPDS プログラムに登録しています。  
**CPD単位【申請中】 CPDSユニット【申請中】**  
「受講確認シート」の入力を確認後、受講証明書を発行しますので、マイページ  
からダウンロードしてください。
14. その他 くにびきメッセの駐車場には限りがありますので、できるだけ公共交通機関を  
ご利用ください。

問い合わせ先

〒690-0012 松江市古志原 4-1-1

(公財)島根県建設技術センター

業務部:野坂・福田

TEL(0852)21-9918 FAX(0852)21-9938

E-mail:skengi-kensyu@sctc.or.jp

## 東部会場



## 西部会場



## 隠岐会場



# 令和6年度 第18回土木技術講習会

## 『新技術・新工法の取り組み』

日時：令和6年10月28(月) 9:20～16:20 (受付：9:00～)

場所：東部会場 くにびきメッセ 多目的ホール(松江市学園南1丁目2-1)

西部会場 浜田建設会館 3F 大会議室(浜田市原井町908番地28) リモート

隠岐会場 隠岐建設会館 会議室(隠岐の島町西町名田の四34-1) リモート

主催：(公財)島根県建設技術センター

後援：島根県土木施工管理技士会

講師：参加各社

### スケジュール及び内容

時間	項目	内容	講師
9:20 ～9:30	開会挨拶	開会挨拶および講師紹介	建設技術センター
9:30 ～10:20	【軽量盛土工法】 PCW工法 ～急傾斜地でも施工可能な『軽量盛土工法』～	・自立性の高いコンクリートパネルの壁面材、気泡混合軽量盛土を使用し、鉄筋挿入工により地山との一体化を図った軽量盛土工。 ・直壁構造による道路構築(道路新設および拡幅工事)、急峻な地形箇所における道路拡幅、被災道路の道路改修、地すべりや軽量の盛土が必要とされる場合の道路構築に適用できる。	PCW工法研究会 本部 事務局 中村 公穂 氏
10:30 ～11:20	【地盤改良工法】 真空圧密ドレーン工法	・本工法は、地盤改良工法の圧密・排水工法に分類され、PVD工法と同じ改良原理に分類される。 ・軟弱地盤にキャップ付きドレーンを打設し、排水ホースと集水管を通して負圧(真空)を作用させると粘土とドレーン内との間に動水勾配が生じることで、粘性土中の間隙水をドレーン内に誘導して上部へと排するのが本工法の改良原理。	錦城護謨株式会社 土木事業本部 技術部次長 山内 義文 氏
11:30 ～12:20	【軽量盛土工法】 FCB(気泡混合軽量盛土)工法 ～FEM解析による地震時挙動と構造物への影響～	FCB工法はこれまで、巨大地震被災地においてFCB自体の変状やFCBが構造物に悪影響を与えたことは無かったが、学術的なアプローチによる検証はなされていなかった。今回、FCB盛土を含む全体地盤に地震動を与え、FEM解析を行うことにより、FCB自身の変状やFCBが周辺構造物に悪影響を与えるものではないことが明らかになった。	麻生フオームクリート株式会社 事業推進部 前野 英昭 氏
12:20 ～13:20	昼食休憩(展示パネル等自由見学)		
13:20 ～14:10	【補修技術】 「カルサプリ」&「リアクトライズ」 ～カルシウム補助剤併用けい酸塩系表面含浸材～	コンクリート改質効果を高める補助剤併用の表面含浸剤について紹介する。 本技術はカルシウム補助剤併用の表面含浸剤で、従来はエポキシ樹脂等による表面被覆工法で対応していた。本技術の活用により大幅なコストダウン及び工程の削減が図れる。併せて、撥水作用を付与したオールインワンのコンクリート表面含浸材「リアクトライズ+撥水」についても紹介する。	馬居化成工業株式会社 開発部 副部長 浅野 達夫 氏
14:20 ～15:10	【補修技術他】 ①亜硝酸リチウム内部圧入工法 ②K-PREX工法 ③グリパック	①塩害・中性化・ASRにより劣化したコンクリート構造物を治療する補修技術。コンクリートに小径の圧入孔を削孔し、そこから浸透拡散型亜硝酸リチウムを内部圧入することで鉄筋腐食抑制効果、ASR膨張抑制効果を付与できる。 ②本工法は、既設コンクリート構造物部材にコドルで削孔した後、最深部を特殊削孔機で円錐状に拡径削孔し、グリッパを設けた緊張材を配置し、これにプレストレスを導入することで、既設部材および増設部材を内部から補強する技術。 ③本工法は、コンクリート二次製品(グリパック)を縦横に積み上げ、縦横方向に連続一体化した面構造として土圧に抵抗する空積擁壁。場所打ちコンクリートが不要で、省力化、工程短縮が可能。	極東興和株式会社 営業本部 補修営業課長 稲富 芳寿 氏
15:20 ～16:10	【仮設工法】 GEOTETS工法 (土留部材引抜同時充填工法)	環境に配慮した仮設工法として、鋼矢板等の鋼製土留杭(以下土留杭)を周辺地盤の沈下を抑制しながら引き抜くことを可能とした工法。周辺家屋や道路等の地盤沈下防止、また、新設施設の安定確保で施設の長寿命化に貢献する。高規格道路や鉄道に近接した土留杭の引抜において、各管理者の基準(許容沈下量等)を満たした施工が可能となる。過去に道路下に存置された土留杭も引抜可能で、地下空間の有効活用や再整備時のコストダウンと工期短が図れる。	GEOTETS工法研究会 顧問 西 靖彦 氏
16:10 ～16:20	質疑応答・閉会	質疑応答	建設技術センター

※携行品：受講通知書(QRコード)、本人確認ができるもの(顔写真付き)、筆記用具

※昼食休憩のほかにも各講義間の休憩時間に展示パネル等の見学ができます